

## 決算特別委員会審査から①

日本共産党神戸市議団は、9月5日におこなった久元市長への申し入れ（市議会だよりNo.313）で、統一協会及び関連団体から寄付、職員派遣、参加、祝電、後援会名義等、全市の部局及び外郭団体で、これまでの関係の有無について調査をし、全容を明らかにするように求めました。今回の問題では、神戸市で明らかになったのは、1年以内に出てきた案件ばかりであり、過去を振り返ると、国会議員や都道府県の各議員に多数の関係があったと言われており、市議団は神戸市として、本当に全く関わりなかったのか追求しています。森本議員が行財政局並びに市長室に対して、統一協会及び関連団体の認識、反社会的集団と認識し

9月26日

### 「命の水」を止めることは人権問題 水道局審査で今井議員



質問する今井まさこ議員

長引くコロナ禍の影響や、円安による異常な物価高の高騰などで、市民のくらしは大変厳しい状況に置かれています。その影響もあり、神戸市ではこの1年間で水道の給水停止を受けた世帯が4527件

- 質疑項目
1. 統一協会及び関連団体との関係について
  2. 区役所業務の民間委託について
  3. 職員定数と保健師、保育士等ケアワーカーの離職対策について
  4. 認知症神戸モデルの財源である超過課税について

ているのか質しました。

#### 答弁ダイジェスト

**増田市長室長：**旧統一協会について、現在も反社会的な行為をおこなっていたといった様々な報道がなされており、社会的に大きな批判を受けている団体であると認識している。

**森本議員：**そういう認識を持っている中で今後一切関係を持たないと断言すべきだ。

- 質疑項目
1. 基本料金の減額について
  2. 水道給水停止の中止について
  3. マンションの直接給水の推進について
  4. 自己水源の拡大と災害に備えについて

にもなっています。今井議員は、コロナの影響でパートの仕事が減り水道料金を支払うことができなかった母子家庭の女性が「給水停止で、朝子どもの顔を洗うために、仕方なくコンビニでペットボトルの水を買っている」と相談を受けたことを紹介。「“命の水”を止めることは人権問題だ。給水停止はやめるべきだ」と求めました。

#### 答弁ダイジェスト

**今井議員：**給水停止を受けた4527件のうち、70歳以上の世帯は何世帯か。また

9月26日

### 統一協会問題

毅然とし、徹底した対応を  
行財政局・市長室審査で森本議員



質問する森本真議員

**増田市長室長：**今後、旧統一協会およびその関連団体からのイベント等の出席、寄付の申し出等々はお断りする。

障がい者や子どものいる家庭は何世帯か。

**桑形副局長：**そういう分類での統計は取っていない。停水に至るのはやむなく公平性の観点からなので、必要であればやるが現状はできていない。

**今井議員：**水道局は命の水を預かっている部局だ。お金を払えない世帯の実態がつかめていないのは問題だ。行政の在り方が問われている。丁寧に話を聞き、実態をつかんでいただきたい。

#### お詫びと訂正

市議会だより315号の表面の今西副市長の答弁に誤りがありましたので、ここに訂正してお詫び申し上げます。

(誤) 今西副市長：物価高や円高の影響や…  
(正) 今西副市長：物価高や円安の影響や…

## 中学校でも学校調理室で作られたできたての給食を！ 新たな署名スタート

冷たい・不味いと不評だったデリバリー式の中学校給食。神戸市は「全員喫食制の温かい中学校給食」への転換を表明しましたが、大量調理施設から保温食缶で配送する「センター方式」で、スタートは早くても2025年まで見送られようとしています。

神戸の中学校給食を実現する会は、子どもたちにとって最善の「自校調理方式の実現」を求め、「学校給食の

無償化」や「地元食材や有機農産物を活用」の要求項目を追加した新署名をスタートさせました。12月末まで3万筆、来年3月末までに8万筆が目標です。

9月24日には、スタート集会を開催。日本共産党神戸市会議員団は「みなさんの運動で、給食の実現、内容の見直しが進んできました。自校調理の実現へみなさんと一緒にがんばります」と決意を語りました。

署名用紙は  
こちらから



9月27日

## 大学誘致ありきではない、市民のための再整備を！

企画調整局審査で山本議員



質問する山本じゅんじ議員

王子動物園・王子公園の再整備について

- 1. 王子公園再整備について
- 2. デジタルトランスフォーメーションについて
- 3. リノベーション神戸第2弾について

質疑項目

ては、神戸市がしめした廃止・縮小の当初案に対し、私たち神戸の宝を守れという様々な市民の運動が広がりました。その多数の声をうけて修正案がだされました。しかし、「大学の意義は大きいので、そこをわかりやすく整理した上で修正素案を提示している」と当局が言うように、大学誘致ありきの歪な中身で市民の賛同が得られる内容ではなく、新たな署名運動も広がっています。

### 答弁ダイジェスト

山本議員：反対の方が多い。賛成の意見でも様々な意見がある。そもそも王子

旧北区役所跡地は北区文化センターとして建て替えられ、その中にバリアフリーの新北図書館や体育施設、児童館などが併設されることとなります。市民意見募集では「体育施設の騒音や振動が発生する。図書館は別棟にしてほしい」「卓球などができる小さな部屋を多くしてほしい」などの意見が多数寄せられています。朝倉議員は「市民・利用者の皆さんから要望されている、ニーズに応えられるようなセンターにすべき」と求めました。

### 答弁ダイジェスト

朝倉議員：「工事設計業務企画書」で

9月28日

## 病床削減はやめ命を守る体制の強化を

健康局審査で西議員



質問する西ただす議員

神戸市は新型コロナ対策として、第7波以降は重症化リスクのある高齢者などを守ることに重点をおくため、6～59歳までの軽症者は自宅療養フォローアップセンターの体制を強化し対応としています。ところが現状では軽症と判断さ

- 1. 新型コロナ対策について
- 2. 済生会病院の移転統合について
- 3. コロナによる後遺症について
- 4. ワクチン接種による副反応について

質疑項目

れた方が急変し亡くられる事態がおこっています。90歳以上の2人の方は軽症扱いで、1人は3度救急要請をされたが3回目に救急隊員がかけつけたときにはすでに亡くなられていた、もう1人の方は保健センターにつながらず、保健所が入院調整をおこなっている最中に亡くなられています。西議員は「90歳以上の方は軽症でも重症化リスクが高い。今後第8波も想定し、今回を上回るような感染拡大が起こっても軽症の方も含め、市民の命を守る体制をつくるべき」と求めました。またコロナによって大きな負担を強いられている保健師の増員も求めました。

公園、王子動物園をより良くしようという話が発端だったと思うが、それが市長の考えによって、駅近に大学という話に変質しているように思う。一旦立ち止まるべきだ。

武田副局長：ご指摘の通り、王子動物園、王子公園を、よりよいものにと考えて、一致している。修正素案について、ご意見を伺って事業を進めていきたいと考えています。

山本議員：一方的に意見を押し進めるのではなく、まずは大学を誘致撤回して、それから市民と共通の課題認識のもとに議論を進めるべきだ。

9月27日

## 北区文化センター

## 市民の皆さんの声に応え快適に利用できる施設へ文化スポーツ局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

宮道副局長：どれほど確保できるかはまだ決まっていない。

朝倉議員：利用者の皆さんの声をよく聞き、皆さんのニーズに応えた快適なセンターにすべきだ。

その他、済生会兵庫県病院と三田市民病院の問題では、150もの病床削減計画を追及しました。

### 答弁ダイジェスト

西議員：100万人に対しての死者数で見ると、大阪がダントツで724.5人、兵庫が2位で520.4人だ。北海道や東京よりもはるかに高い。この結果からみると神戸は高齢者施設でのクラスターが多く出ているのではないかと。

山崎担当局長：クラスターは沢山でているが、そのために死亡者が沢山でいるとは判断していない。関西は高齢者が多い中で死亡率が高くなっている。

西議員：亡くなっている方は高齢者が多い。そういう方が入院できないのは問題だ。コロナ病床をさらに確保することが必要だ。